

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/> (群馬菱の実会ホームページ)

秋の親睦旅行「南信州 昼神温泉」道中記



今年の親睦旅行は、走行距離約700kmと少々遠方の「南信州 昼神温泉」を設定させていただいた。高速道路5つ(北関東・関越・上信越・長野・中央)を乗り継ぐ長旅になるため、道中参加者が退屈しないよう事前にバスの大きさ・カラオケ設備有無の確認を済ませ当日を迎えた。小雨の中出発予定時刻の30分前にバスは到着、予想通り大型で、カラオケ設備も備えたバスであることを確認し先ずは一安心。荷物を積み込み参加者35人が乗車、定刻どおり9:00に正門前を出発した。最初の目的地「信州野沢菜センター」まで約3時間、大先輩が持参した自前のカラオケテープで、なつかしの昭和歌謡を皆で歌い、口ずさみながら、盛り上がった雰囲気の中に、野沢菜センターに到着した。野沢菜センターでは、今回の旅行に鎌倉から参加いただいた中野嘉博さんが合流、36名全員揃った所で昼食と相成った。

昼食後は、光前寺が次の見学予定地であったが、スケジュール調整のため、急遽次の見学予定地「妻籠宿」へ向かうことになった。妻籠宿は中山道42番目の宿場で、隣接する岐阜中津川の馬籠宿と木曾路を代表する観光名所で名高い所であるが、小雨のぱらつく中の散策で、皆さん足早にバスに戻った。

妻籠宿を散策の後「昼神温泉」にはほぼ予定通り17:00に到着。長旅の疲れを宿の温泉で癒し、18:30から懇親会を開催。二宮会長、鈴木総務部長様、荻原

労組委員長様のご挨拶に続き、ご長老の永沼進さんの乾杯のご発声により開宴。宴会は、境野利夫さんの進行で、カラオケが途切れることなく披露され、カラオケを聴きながらの懇親の場は、あっという間に2時間半を経過。宴会の締めは、定番の中野嘉博さんによる阿波踊り付の一本締めで閉会となった。

翌日は、絶好の行楽日和となり、伊那路で買い物、水引き工芸館では、正に職人技の製作を巧みな解説入りで見学できた。そして最後の見学地「光前寺」は、樹齢数百年の巨木に囲まれた長野屈指の大きな寺で、境内全域が名勝庭園として、国の文化財に指定された噂に違わず見応えのある寺であった。

光前寺を見学した後は、昼食を済ませ帰路に。辰野インターで中野さんが、次回の参加を誓い降車。バスは一路群馬へ。帰りは井上佳久さんの巧みな進行により、ビンゴ・カラオケと大いに盛り上るなか無事に正門前に到着。

お忙しい中ご参加いただきました鈴木総務部長様、荻原労組委員長様には厚く御礼申し上げます。また、参加いただいた皆様には、今回の旅行に対するご意見をお聞かせいただき、次回はより多くの方に参加いただけるようなご案内ができたと思います。大変お世話になりました。

祝
長
寿

「喜寿」のお祝い

加藤 勝司 様

太田市新田木崎町

11月29日

「菱寿」のお祝い

斎藤 慶蔵 様

太田市南ヶ丘町

85歳 (1927/11/14)

【 新入会員紹介 】

橋本 功衛さん (平成24年8月入会) 太田市粕川町



このたび、菱の実会に入会しました橋本功衛です。平成3年に群馬を離れ今年3月に会社を辞め久しぶりに戻ってきました。菱の実会では事務局として会のデータ管理などを手伝っていきます。これからは会員の皆様にお世話になりますのでよろしくお願いします。

- (経歴)
- ・1968年4月 馬電入社、サービス係～機械計算
 - ・1977年4月 全社情シ部門集中化(関東機械計算室馬電分室)
 - ・1991年3月 郡電分室に転任
 - ・2001年4月 MIND社に出向
 - ・2005年4月 MIND社に転籍
 - ・2012年3月 退職

愛好会の新活動拠点「ブライダルスクール」紹介

囲碁、麻雀、将棋愛好会の会場「赤城倶楽部」は、長年使用してきた赤城社宅から、会社正門前、睦荘北側の部室建屋の一角にある「ブライダルスクール」に移転しました。

30畳強の大きな畳敷きの部屋で、二つの愛好会が並行して開催できるほどの広さがあります。エアコンの室外機が盗まれ扇風機に頼っていた冷房も、パッケージエアコンが設備されており、大汗をかかなくてすみそうです。

「赤城倶楽部」という手作りの看板も掲げてあります。是非一度、お気軽にお立ち寄りください。



第58回 ゴルフ愛好会コンペ

順位	氏名	GRS	NET
優勝	岡部 勇	77	71.0
準優勝	坂田 修	81	71.4
3位	高木 和彦	92	71.6
4位	鈴木 清一	92	72.8
5位	蟻川 正吾	91	73.0
6位	中里 正史	90	73.2
7位	間々田 欽一	84	73.2



10月9日(火)に上武ゴルフ場に於いて、第58回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。10月に入りやっとなり、最高気温も25度位で最高のゴルフ日和で、コースのコンディションも良く好スコアが期待される中ゴルフを楽しむことが出来ました。今回はトップシーズンということで34名の方に参加して頂き実施しました。

コンペの結果はただ一人グロス70台で回った岡部勇さんが優勝をしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。次回の大会は、12月11日(火)に予定しています。(上武ゴルフ場)

がんばってます！

「アーチェリー」で地域社会貢献

野村 守

今年3月末で定年退職、4月1日付けでMDライフ群馬支店に再雇用していただき、第二の人生がスタートしました。現在、健康第一に考え高校時代から続けている趣味のアーチェリーと好きな写真撮影・編集を続けています。

アーチェリーの魅力は、小柄な人も力だけでなく技と精神力で勝てる静のスポーツ。競技は自分自身との戦い、そのための「心・技・体」は最も重要と考え、常に心技体の三角形を大きくする努力していますが、まだまだです。

50歳になって突然、重症の五十肩(両肩)になり1年半ほど弓が引けない時期があり、引退も覚悟していましたが、その後回復し、半年間リハビリを続けやっとなり52歳で競技に復活しました。以前のように点数がでず、落ち込んだ時期もありました。そんなとき、09年5月に太田市アーチェリー場が「利根の湯」東に位置する「備前島水質浄化センター内」に完成。これを期に練習・指導拠点として県内外のアーチェリーが訪れ、休日は忙しい日々を過ごしています。

今後の目標は、全日本社会人選手権出場(壮年の部)を目指し、基礎体力作り(ほぼ毎日腕立て伏せ・腹筋・縄跳び)を続けるとともに、試合に数多く参加することにより、自信を付けること。取得している公認アーチェリー指導員・1級審判員資格を活用し、地域社会貢献のため身障者のボランティア・普及活動・競技力向上を目指し、引続き精進して行きたいと思っております。最後に、菱の実会の皆様も、ぜひ一度見学していただければ幸いです。



【 会員投稿 】

上州を彩った文人たち (その3)

ひまじん

第二芸術論という用語がある。これは戦後まもなく、フランス文学者桑原武夫教授が主張したもので、日本古来の俳句は思想性・社会性の自覚がなく、現代の人生を表しえないものであり「第二芸術」として、他の芸術と区分し、学校教育からも締め出すべきという、主張であった。俳句界からも有効な反撃がなく、現在でも公知されているかのようである。なぜ今、こんなことを書くかという、小生は長いこと、このやや蔑視的な「第二芸術」のなかに短歌も含まれているものだと、勝手に思い込んでいたのであるが、改めて検索してみたら、短歌は「第二芸術」の範疇に入っていなかった。今回紹介するのは苦手な歌人である。

吉野 秀雄 と 山口 瞳

両者は先生と弟子であった。二人が出会ったのは昭和21年4月 吉野44歳、山口19歳のとき、鎌倉に「鎌倉アカデミア」という大学校ができて、瞳君がそこへ入学したのである。

吉野秀雄は明治35年 高崎市呉服商吉野商店の次男として生れた。(吉野商店は後に株吉野藤となり、現在でもアパレル業界では知られた存在らしい。) 地元高商卒業後慶応に入学するが、23歳のとき、肺患にかかり帰郷、大学も中退する。そして、この病いが生涯の持病となってしまうのだが、この頃より、国文学の独習に励み、作歌を始める。「鎌倉アカデミア」の教師になるころには、会津八一との親炙、古歌の研究、作歌等により、短歌界での地位を固めていた。

瞳が教わったのは「万葉集」と「作歌の指導」であった。学校における吉野を山口は「先生の全体の印象はますらおである。大きな人である。容貌魁偉であるが、それが同時に優しいのである。先生は誰からも愛されるようになった。」と書いている。

山口瞳は群馬とは無縁なのだが、OB各位には「トリスを飲んでハワイへ行こう!」の作者だといえば、思い出してもらえるかもしれない。古すぎるよというなかれ! 彼は寿屋宣伝部で活躍後『江分利満氏の優雅な生活』で直木賞を受賞、『居酒屋兆治』は高倉健主演で映画化された。「週刊新潮」に『男性自身』というタイトルの小説風随想を31年間連載するという流行作家になる。

話を吉野の方に戻そう。彼が「鎌倉アカデミア」の教師になる前 昭和19年に四人の子を残し、妻に死なれる。この前後の状況を読んだ『寒蟬集』が草稿のうちに認められ、出版される。

しかしながら、「鎌倉アカデミア」は正規の認可を得てない大学であったためか、教授が去り、生徒が消え、25年には廃校になってしまう。

以後、定収入は皆無となり、原稿料、選歌代金、講演料等での生活が始まると年譜にある。小説家と違い少し名が知れても歌人の生活は容易ではないものらしい。

随筆『わが心の日記』を引用してその生活振りを窺ってみよう。「歌はなんのために作るか。好きでおのづから作るといふほかに毫末のりくつもあるはずはない。・・・」

下手も上手もへちまもなく、それなくして当時の孤独に堪えることは不可能であった。のんきな手ずさび、結構な趣味とはまったく別なのであった。」

貧しさと病弱と闘いながら、「良寛」「子規」「会津八一」の研究を重ね、58歳の時に『吉野秀雄歌集』で読売文学賞を受賞する。

第1回釈迦空賞を得たのは昭和42年66歳死の直前であった。群馬県の山河を多くの歌に残したが、鎌倉を離れることはなかった。

今でも秀雄を偲ぶ『艸心忌』(そうしんき)が墓所のある鎌倉で毎年行われている。

会員投稿の協力を難うございます。現在の未掲載原稿は、七件です。引き続きよろしくお願ひします。



『この人生に乾杯!』の表紙

彼の死後(平成7年)『この人生に乾杯!』が刊行されるが、その副題にあるごとく、30人の各界著名人が思い出を書いている。その分野は映画・競馬・野球・将棋・等々数多く、それに自身の著『私の行きつけの店』はもとより飲んべいの話である。当時の五時から男たちにモテタわけである。



彼の代表歌を掲げるかわりに(選歌に自信がないので)山口瞳が書いた佳作『小説 吉野秀雄先生』を挙げておこう。一読をお奨めする。

● 今月の【 細野水彩画廊 】: 『 城砦の町 』

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/hosono2012-11.pdf>

● 【 須永写真ギャラリー 】: 『 晩秋の観音沼 』

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/sunaga2012-11.pdf>

◇ おしらせ ◇

〒に市外局番のないものは 0276 です

行事	日時	場所	申込み、他
11月の囲碁愛好会	11月12日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
11月の麻雀愛好会	11月8(木)、22(木) 9:30~17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 11/6日、20日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
11月の将棋愛好会	11月19日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
第69回 秋季 グラウンドゴルフ大会	11月26日(月) 9:30(集合9:15)	利根G/G場 (会費:500円) 雨天中止翌月開催	申込み: 11月22日(木) 島 保夫 (52-0889) 高橋勝美 (52-0398)
第59回ゴルフ愛好会	12月11日(火) 9:06 スタート	上武ゴルフ場 締切 11/30	川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
第11回カラオケ大会	12月3日(月) 17:30~21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 12月1日まで 大橋 浩 (52-3866) 江川 八郎 (52-1886)
12月のパソコンサークル	12月3日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
12月の幹事会	12月3日(月)15:00	労組会議室	
11月の編集委員会	11月26日(月)13:30	労組会議室	

草津の名湯とこだわりの料理を1泊2食 ¥9,450- からご利用頂けます!!

三菱電機グループ ムルコリゾートサービス(株) 運営
くさつゆさいのやど しゃくなげ

＜各日2部屋まで＞

9,450円/人 [12/2~21の土曜日を除く]
10,500円/人 [11/26~30, 12/24-25]
11,550円/人 [11/12~15・19~22・25, 12/26~28]

群馬県吾妻郡草津町草津464-1 ご予約は[湯菜の宿予約センター](群馬菱の実会々員様の旨をお伝え下さい) TEL 0120-83-1126

いずれの日程も下記の利用条件となります。
和室8畳2名様利用or和室10畳3名~4名様利用時
1泊2食付料金(入湯税別)

さらに菱の実会の皆様限定で
ランドリンクサービス致します!

三菱太陽光発電・オール電化・リフォーム 家電品フェア

開催日: 11月17日(土)~18日(日)

会場: 三菱電機群馬製作所 ゲストホール
午前10時~午後4時

菱馬テクニカ株式会社(営業課) 0120-941650

三菱電機ライフサービス(株)群馬支店
(商品サービス課) 0276-52-4669

編集後記

先日『NHKスペシャル』で日本アルプス縦断のトレイルランが放送された、富山湾からスタートし北アルプス剣岳から中央アルプスそして南アルプスを縦走し駿河湾がゴールの約 420Km登りの累積は2万7千m、これを8日間で駆け抜ける最も過酷なレースで賞金も賞品も無い、トップは5日と6時間でゴールした、人間どこまで耐えられるのだろうか、フルマラソン10本連続の距離を殆ど寝ずである、体力はもちろんのこと精神力の強さには敬服した。制限時間の8日間にゴール出来ずに失格となった選手もいた、しかし自分の目標に向かってゴールまで走り抜いた、大会は終わっていたがともに戦った皆がゴールで迎えてくれた、感動的だった。これから元気で感動的なシーンを何回作れるだろうか？

(生田 記)

発行 2012-11-1 No. 235

発行責任者 二宮 平太郎

● 編集: 「菱の実会だより」編集委員会 ● 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207